

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法による減価償却を実施している。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税込方式を採用している。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、自己都合退職による当期末要支給額に基づく  
当事業年度発生額と5年の定額法に基づく過去勤務費用償却額の合計額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	29,875,972	18,000	0	29,893,972
貸付信託	4,200,000	0	2,500,000	1,700,000
定期預金	37,956,028	2,500,000	0	40,456,028
小計	72,032,000	2,518,000	2,500,000	72,050,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,200,000	0	1,200,000	0
小計	1,200,000	0	1,200,000	0
合計	73,232,000	2,518,000	3,700,000	72,050,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	29,893,972	29,893,972	0	
貸付信託	1,700,000	1,700,000	0	
定期預金	40,456,028	40,456,028	0	
小計	72,050,000	72,050,000	0	
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	72,050,000	72,050,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	251,790	244,235	7,555

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額は、次のとおりである。

内容	金額
第245回 利付国債(10年)	29,893,972

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
国債、貸付信託、定期預金の利息	423,930

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、郵便振替及び未払金、預り金を含めることにしている。

### 3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金	31,638	15,795
普通預金	17,958,257	6,920,461
郵便振替	22,192,835	66,768,765
合計	40,182,730	73,705,021
未払金	27,735,360	63,916,804
預り金	14,500	41,700
合計	27,749,860	63,958,504
次期繰越収支差額	12,432,870	9,746,517